

協定校留学報告書

記入日	2017年 7月 7日
所属	人文学部社会科学科
学年	4年
留学先大学	静宜大学
留学開始・終了時期	2016年 9月 ~ 2017年 6月(留学開始時期 3年次) (10カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
<p>元々海外に興味があり、何度か語学留学や海外ボランティアに行くにつれ、単期間ではなく長期間海外に身を置く体験をしたいと思うようになったから。</p> <p>もう卒業が間近に迫り、これを逃したらもう長期間の留学ができる機会を逃すと思ったため。</p>
② この協定校に決めた理由を教えてください。
<p>英語ではなく他の言語を学びたかったため、よく考え、一度も勉強したことのない中国語に興味を持った。</p> <p>中国語圏の協定校となると、中国か台湾であり、環境がいいのはどちらかと考えた時、親日の人が多い台湾の方がいいと思い台湾を選んだ。台湾の協定校は静宜大学のみであったため、その学校に決めた。</p>
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
<p>静宜大学は語学の資格はいらなかった。そのため、特別な勉強はしていない。しかし、中国語は発音が重要ということを知っていたため、発音の基礎は勉強していった。</p> <p>また、中国語は一度も勉強したことがなくコミュニケーションを取るのが大変だと思ったため、英語の勉強も少しした。</p>
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうがいいことがあれば教えてください。
<p>私は3年の後期から留学を始め、一年の留学だったため、最初から就職は1年遅らすつもりでいた。そのため就活については何もやっていない。</p> <p>単位は留学先でももちろんいくつか取得できるが、それに頼らず、できるだけ留学前にとっていった方がいいと思う。</p>
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 (<input type="radio"/>)

b. 個人の保険のみ ()

c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ()

⑥ 予防接種は必要でしたか。()に○をつけてください。

a. はい () 具体的に:

b. いいえ (○)

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

中国語 週10時間、その他13時間

中国語 週20時間、その他3時間

の二つから選ぶことができた。お金を払えばもっと受けることもできる。

ほとんどの留学生は、中国語週20時間を選んでおり、私もそうだった。

中国語

1日2時間の授業が2クラス、合計週20時間の中国語のクラス。

朝8:10~10:00で1クラス 10:10~12:00で1クラス。50分ごとに10分間の休憩。

それぞれのクラスは違うメンバーで構成される。レベル別にクラスは分けられ、希望があれば別のクラスに移ることもできる。

クラスは10人程度で構成され、私の場合一番少ないクラスで5人、多いクラスで17人程度であった。授業は教科書を使って行われるが、例えばカードゲームやスマホ、ボールを使雨こともあった。先生によって授業形態は違うが、私はどの先生の授業も大好きだった。

少人数で、かつ双方向的な授業のため、発言がしやすく、わからないところがあればすぐに聞いて解決でき、飽きることない楽しい授業であった。難しい課があれば何日か使うなど、臨機応変に生徒の意見を聞きながら授業は進められた。

クラスには多国籍の生徒がいるため、それぞれの国についてプレゼンすることもあった。

テストはそれぞれの先生によって違う。筆記もあれば、インタビューもあった。

中華文化 (週一回、2時間、2単位)

大学の授業を受けようと思ったが、私の中国語のレベルは超初級であったため、英語で開設されている授業を選んだ。この授業の生徒はほとんど留学生だった。この授業は先生が一方向的に話す授業であったが、内容は風水や中華文化独自の暦、ドラゴンフェスティバル、伝説など、楽しいものだった。テストは2回、辞書持ち込み可の、英語での筆記だった。

多元文化学習興交流 (週一回、2時間、3単位 (土曜にフィールドトリップ二回あり))

全員が留学生で、フィンランドやオランダ、タイ、アメリカ、フランスなど、多国籍の授業だった。4人程度のグループを作り、毎回違うテーマについてディスカッションをしたり、時にはグループごとにカルチャーショックについて、国ごとに自国についてプレゼンしたりした。フィールドトリップは2回あり、お寺に行ったり、ちょうちんを作ったりした。

<p>② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。</p> <p>とにかくわからないことがあったら、留学センター、中国語のクラスについてだったら、華文中心センターに聞くことが大切。みな親身になってきちんと聞いてくれる。また、日本人の女の先生がおり、授業履修にしても、生活面にしても面倒を見てくれるので、何かあったらその先生に相談すれば大丈夫。</p>
<p>③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。</p> <p>中国語の授業 超初級で、最初は名前も言えないくらいで不安だったが、レベルごとにクラスが構成されたため大丈夫だった。しかし、授業の進みが遅かったため、自分で先の課を進めるなど、自主的に勉強することを心がけた。 少人数のクラスであり、発言がしやすかったため、できるだけ発言するようにしていたら、少しずつ発言すること、間違えることに対する抵抗が薄くなっていった。 毎朝8時10分から始まるため、起きるのが大変だった。</p> <p>多元文化学習興交流 この授業は全て英語で行われるため、暇なときに英語を勉強したり、プレゼン前には友達の前で練習するなどした。 日本ではディスカッションやプレゼンをすることがほとんどなかったこともあり、この授業についていくのは大変だった。この授業はタイと日本の生徒以外全て欧米の生徒であり、彼らはプレゼン上手く、意見をしっかり持ち、しょっちゅう発言していた。そのため、自分の力のなさに落ち込むことが何度かあった。この授業を通して、発言力やプレゼン力が高まった、とは言えない。しかし、意見を言って間違えることよりも、黙って自分の意見を言わないことの方が恥ずかしいと言ったことがわかった。また、他の留学生を見て、自分の至らない部分をたくさん見つけることができ、よかったと思う。この授業を通して学んだことは、全て、留学に行っていなかったら発見できなかったことだと思っている。</p>

3. 留学先での生活について

<p>① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか</p> <p>栄えている台中市中心からバスで1時間弱のところにあった。周りはとても静かだが、学校の隣には小さな夜市があったり、近くに毎晩賑やかな飲食店がたくさんある道があったり、とてもいいところだった。キャンパスはとても大きい。門から宿舎や講義棟まで5分くらいかかり、高低差が大きいため、移動が疲れる。 緑に溢れ、リスがいたり、見たこともないような鳥がいたり、学校で飼っている犬が4匹くらいいたり（おとなしくて、癒される）、環境はとてもよかった。 食堂は3つあるが、とても安く美味しく、台湾料理から、イタリアン、日本料理と種類も豊富なた</p>

め、食べ飽きない。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮 () : 何人部屋でしたか (4 人)
- b. アパート () : 何人部屋でしたか (人)
- c. ホームステイ () : 何人部屋でしたか (人)
- d. その他 () 具体的に :

③ 住環境はどうでしたか。

特に不満はなかったが、ルームメイトが部屋の中で電話することや、夜の11時頃に匂いのするご飯を食べることがあったので、ストレスが溜まることもあった。大きい電気は共有であり、エアコン、扇風機も共有であって、それぞれ体感温度も違うので、お互いコミュニケーションをとりながら生活していく必要があった。何か不満があるなら、我慢するのではなく、直接本人に言うことが大切。国も年も違う人と四六時中一緒にいるとストレスが溜まることもあったが、その分学ぶことやおしゃべりなど楽しいことも多く、寮を選んで良かったと思う。

シャワー室は多く、特に不便はしなかったが、時間帯によっては待つこともあった。トイレは紙を流せないのと、トイレの使い方ができてない人もいたので、汚いことは多々あった。

④ 食事はどうしましたか。

- a. 大学・寮のミールプラン ()
- b. 主に外食 ()
- c. 自炊と外食が半々程度 ()
- d. その他 () 具体的に :

⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

留学先に日本語学科があったので、日本人留学生向けに歓迎会を開いてくれ、また日本語の話せるチューターも付くので、台湾人の友達は作りやすかった。しかし、日本語学科ということもあって、日本語を話す機会が多くなってしまった。

チャイニーズコーナーと言って、中国語を学生から教えてもらうコーナーがあるので、そこでも台湾人の友達を作ることができた。

静宜大学はキリスト教の学校だったので、大学の授業ではなくアメリカから来た宣教師が開いている無料の聖書のクラスがあった。そのクラスは、日本人2人以外全員中国人であり、中国人の友達が多くできた。このクラスを通し、アメリカ人の家で本場のクリスマスパーティーやホームパーティーも味わうことができた。また、積極的にイベントに参加することでさらに交友関係が広がった。また、台湾に来る前は中国に悪いイメージを抱いていたが、一人の人として関わることで、普段ニュースやネットで見るとは違った面が見えた。彼らは自分の意見をしっかり言うことができ、いい意味で遠慮しないので、学ぶところも多かった。そして、帰国の際に涙の別れをした、一番仲のいい外国人留学生はこの授業を通して知り合った一つ上の中国人である。

中国語の授業は毎日あり、少人数だったということもあり、クラスメイトと比較的仲良くなり

やすかった。イタリア、フランス、フィンランド出身の留学生7人と日本人3人で受けたクラスが特に印象に残っている。なかなか仲良くなれなかったが、クラスメイトの誕生日パーティーに参加したことで仲良くなることができた。そのあとは、自分の国のご飯を作るパーティーをしたり、何回かクラブに行ったり、仲を深めることができた。ただ、仲良くなるのが遅く、もっとはじめから積極的にしていれば良かったと後悔している。

最後に日本人の留学生。寮の部屋が近かったこと、中国語のクラスに多くの日本人がいたこともあり、日本各地から来た留学生と友達になることができた。せっかく海外に来たのに日本人と関わるのはもったいないと思うかもしれない。私もそう思っていたが、それは違う。私は全くタイプが違う日本人の友達と出会ったことで、世界が広がった。

⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

土日は、留学先の学校がある台中市のバスはある一定の距離が無料なので、バスに乗って出かけることが多かった。台中市中心部に行ったり、高雄、台北、台南などに行ったり、出かけないで部屋の中で映画を見たり、その日やりたいことをして過ごした。慣れてくると、一人でふらっと出かけることもあった。

平日は、サークルに参加したり、宿題をしたりした。学校のジムは安く、綺麗なので、留学後半はしょっちゅうジムに行った。

長期休暇は何回かあったので友達と、留学中に二回フィリピンに、それぞれ10日間程度旅行した。

私は後期、前期の一年の留学だったので、後期と前期の間の春休みは日本に帰った。その期間に、中国語のクラスが一緒だった日本人とイタリア人の友達と京都で遊んだ。

⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

規則正しい生活をするように心がけた。そのおかげで、熱を出すこともなく、ひいても鼻風邪程度だった。留学生の中には入院をしたり、手術をしたり、救急車で運ばれる人もいたので、体調管理には意識して注意したほうがいい。

毎日三食外食で、台湾料理は油が多く、台湾のご飯はすべて安く、野菜も不足しやすいので、太りやすい。普段から意識してほしい。

台湾はバイクが日本と比べ物にならないくらい多く、車のスピードは速く、歩行者にあまり気を使わないので、道路を歩く時は常に注意してほしい。留学中何度も交通事故をみた。左右確認は必須。

⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

特にない。

バスの中は飲食禁止であることや、トイレットペーパーを流してはいけないことくらい。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	一度日本に帰国した分も含めて5万円程度(LCC)
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	約10万 円
住居費(寮費)光熱費等含む (月額)	半期で約4万 円
食費 (月額)	約3万 円
その他 (月額)	約2万 円
総額 (留学期間中の費用総額)	円

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。
a. () 4年で卒業予定
b. (○) 卒業は延期する予定(延長予定期間: 半年か一年で迷っている)
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)
留学前に少し自己分析をしたくらいで、留学中は留学に専念したかったため、特別なことはしていない。 留学後は、来年の就活に向け業界研究などをしていくつもりである。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。
留学中、卒業を遅らしてまで留学する必要があったのか、留学を通して成長できたのか、何度も不安になった。しかし、こうして留学報告書を書き、留学を振り返ってみると、日本では体験できない貴重な経験をすることができたこと、自分を支えてくれていた多くの人の存在に気づいたこと、多くの人と関わり多くのことを学んだということがわかり、留学をして本当に良かったと思った。 留学中、人間関係、勉強など、たくさんのもので悩み、辛い時もあった。しかし、今振り返ると留学中に思ったこと、悩んだこと、失敗したこと、全てのことが経験できてよかったと思う。 留学中に学んだことがいつ活きるのか、そもそも活きるのかわからない、しかし、留学をして良かったと心から思うことができたので、それで十分だと思う。
② 留学して、何が変わったと思いますか。
自分の意見を言うことに躊躇いがなくなったし、しょっちゅう発言をしては間違えていたので、前より失敗が怖くなくなった。良くも悪くも前よりも周りが気にならなくなったとも思う。 家を、日本を離れ、自分はいろんな人に頼っていることに気づき、家族や友達に感謝するようになったと同時に、もっと自立しないといけないと思うようになった。 自分に自信を持てるようになったとも思う。留学を通して国も年も違う人、日本各地から来た人と出会い、人は人、自分は自分、本当にいろいろな種類の間人がいておもしろいとわかったからだ。自信を持つようになったことで、もっと他にも挑戦したいと思うようになった。

また、台湾と中国の関係を意識するようになった。着いたばかりの頃は、しょっちゅう台湾人を中国人と言い間違えた。しかし、台湾は中国のものではない、「台湾」という一つの国だ、とよく台湾人の友達や先生が言っていたので、気をつけなければいけないと思った。一方で中国人の友達はそれと反する考えであったので、難しいなと思った。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学に行きたいという気持ち少しでもあるなら是非、留学してほしいです。不安に思うこともたくさんあると思いますが、なるようになります。なんとかなります。周りも助けてくれます。

留学に行って後悔する人なんていないと思います。とにかく挑戦してみてください。